



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

Tel 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

春よ来い

校長 大谷 珠美

校庭の梅の花が、満開になりました。春の足音が近づいてきています。

学校は、いよいよ最後の月になりました。今年度も新型コロナウイルスに振り回された一年になりました。学校行事も大きく変更をせざるを得ない状況にもなりました。子どもたちが楽しみにしていた行事も縮小や延期、中止になりました。しかし、そのような状況の中でも、教育活動を続けることができほっとしています。年が明けてからは学級閉鎖をするクラスもあり、このままで大丈夫なのかという不安もありましたが、幸い、大きな広がりにはならず3月を迎えることができました。これも、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力があったからこそと感謝いたします。一年間、どうもありがとうございました。

さて、北京オリンピックが2月20日に終わり、多くの感動が私たちに届きましたが、この大会をテレビで観戦していて、参加している選手の年齢の低さに驚きました。東京オリンピックも10代の選手が活躍していましたが、北京の冬季オリンピックも同様でした。みな、子どもの頃からの夢を実現させて、その舞台に立っていました。夢を実現するために一心に努力してきた結果、志を遂げて今がある人もいたことでしょう。心に決めた目標に向けて進もうとする気持ちをもち続けることは並大抵のことではないと感じます。

フィギュアスケートの羽生結弦選手は、自分自身が挑戦してきた4回転半ジャンプにチャレンジしました。練習でも何回も転倒していたので、どうなることか見ていた人たちはみな、心の中で応援していたと思うのですが、羽生選手はたとえ失敗しても挑戦することが大事だと考えたようです。北京オリンピックを振り返り、「皆さんに見ていただけるからこそこうやって滑れたと思うし、演技に何かしらの意味が生まれる。感謝したい。幸せな時間だった。」と締めくくっています。また、「努力をしてもどうしようもない時期はたくさんあったし、どん底を何回も見てきた。大人になって、人生って報われることがすべてではない。報われなかった今は報われなかった今で幸せ。少しでも前を向いて歩いていけるようにしたい。」と話していました。この心境に至るまではどんな葛藤があったのか、10代から世界で戦ってきたからこそその思いなのだと感じました。

私たちは、自分自身の志について具体的に考える必要に迫られるのは、進学や就職などの人生の節目を迎えた時であるかもしれません。しかし、自分は今、何をすればいいのか、どのような未来に向けて歩いていこうとしているのか、これから毎日をどのように過ごしていけばいいのか、かけがえのない人生を自分らしく充実したものにするためには、年齢に関係なく考えることが必要なのかもしれません。

この3月に小学校を巣立つ6年生。生き生きとした日々を過ごすことができるように自分を磨いてください。そして、すべての人々に、明るい春が来ますように。